地域のニュース

心弾む木岐、春の光景♪

いたずり発見!

乾燥わかめ

木岐小学校の卒業式

3月16日6年生6人が木岐小学校を巣立ちました。おめでとうございます!

◆避難場所整備がすすんでいます

4月7日、日吉神社近くの山林2ヵ所(海抜約20mの場所)が住民約30人の手によって切り開かれ、避難できる状態になりました。チェーンソーやのこぎりで竹や木を伐採し、150㎡ほどの山林が避難場所として整地されました。今後も引き続き整地作業が行われる予定です。

◆「喫茶やすらぎ」が3周年を迎えます

「喫茶やすらぎ」がこの5月で3周年を迎えます。ご愛顧いただいいているみなさま、ありがとうございます。阿部ミチコさんも「まさかこんなに続くとは思わなかった」と顔をほころばせます。3周年めの開店日5月26日(土)には特別サービスがあるかも!?今後とも「喫茶やすらぎ」をよろしくお願いいたします。

【喫茶やすらぎ】毎月第4土曜日
午前10時～午後5時

2009年(平成21年)5月15日　金曜日

美波・木岐に初の喫茶店

23日オープン

住民グループ 月1回運営

部屋カフェ風に空き家を改修 住民安らぐ場に

オープン時の新聞記事

◆食堂再開について

メンバー募集説明会を2回にわたって行いましたが、一緒に食堂をやっていくメンバーが見つからなかったため、今春を目標にしていた食堂の再開は見合わせさせていただきます。引き続き、木岐まちづくり協議会で、検討を続けていきます。よろしくお願いいたします。

編集後記

ちょうど1年前、休日出勤して会社で書類をつくっていたところ、四国に住む友達から「今日は山菜とりにいってきたよー」という、何とものほほんとしたメールがきて、目の前の仕事をほっぽりだして四国に飛んで行きたい衝動に駆られたのを思い出します。1年前の東京の春といえば、ちょうど震災直後で、スーパーは食料難だし、外出する時はマスクをして帰ってきたら服をタオルで拭いて家に入るという放射線に怯えた状態だったし、余震はずっと続いていたし、会社でも家でも電気をぎりぎりまで節約していたし、で精神的に落ち着かない状況でした。その中で触れた「春の陽気の中、山菜をとりにいく」という行為は、自分の前の前にある日常とのギャップにクラクラするほどのことだと同時に、とてつもなくうらやましく思えたことなのでした。それ以来、私の中では『のほほんと山菜をとりにいくこと』は必ずやりたいことの1つだったのです。

そして、そのやりたかった山菜とりに先日いってきました。ふきのとう、タラの芽、わらび、いたずり、ぜんまい。木岐の中で全部調達することができました!タラの芽は人気のようで、私が行ったときにはどなたかがとった後でしたが。天ぷらにしておいしくいただきました。ありがとう山菜さん! 〈青野〉